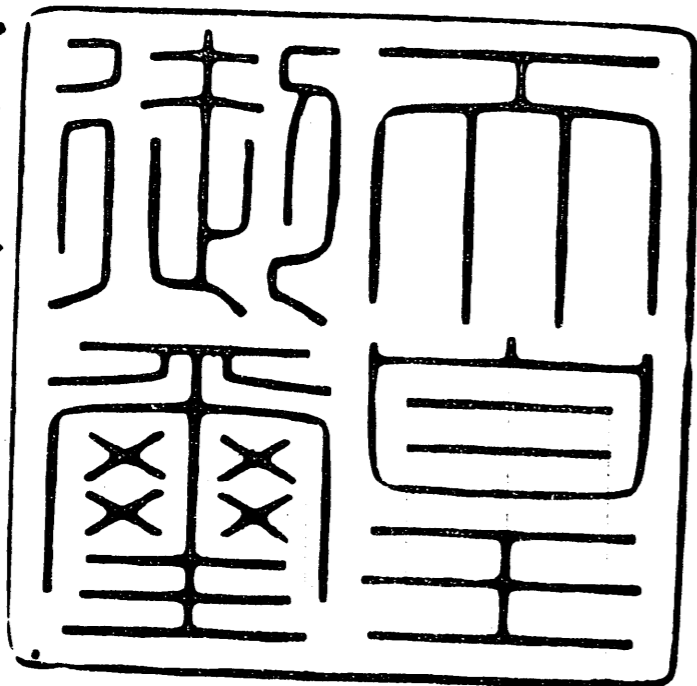


勅令第三百七十五號

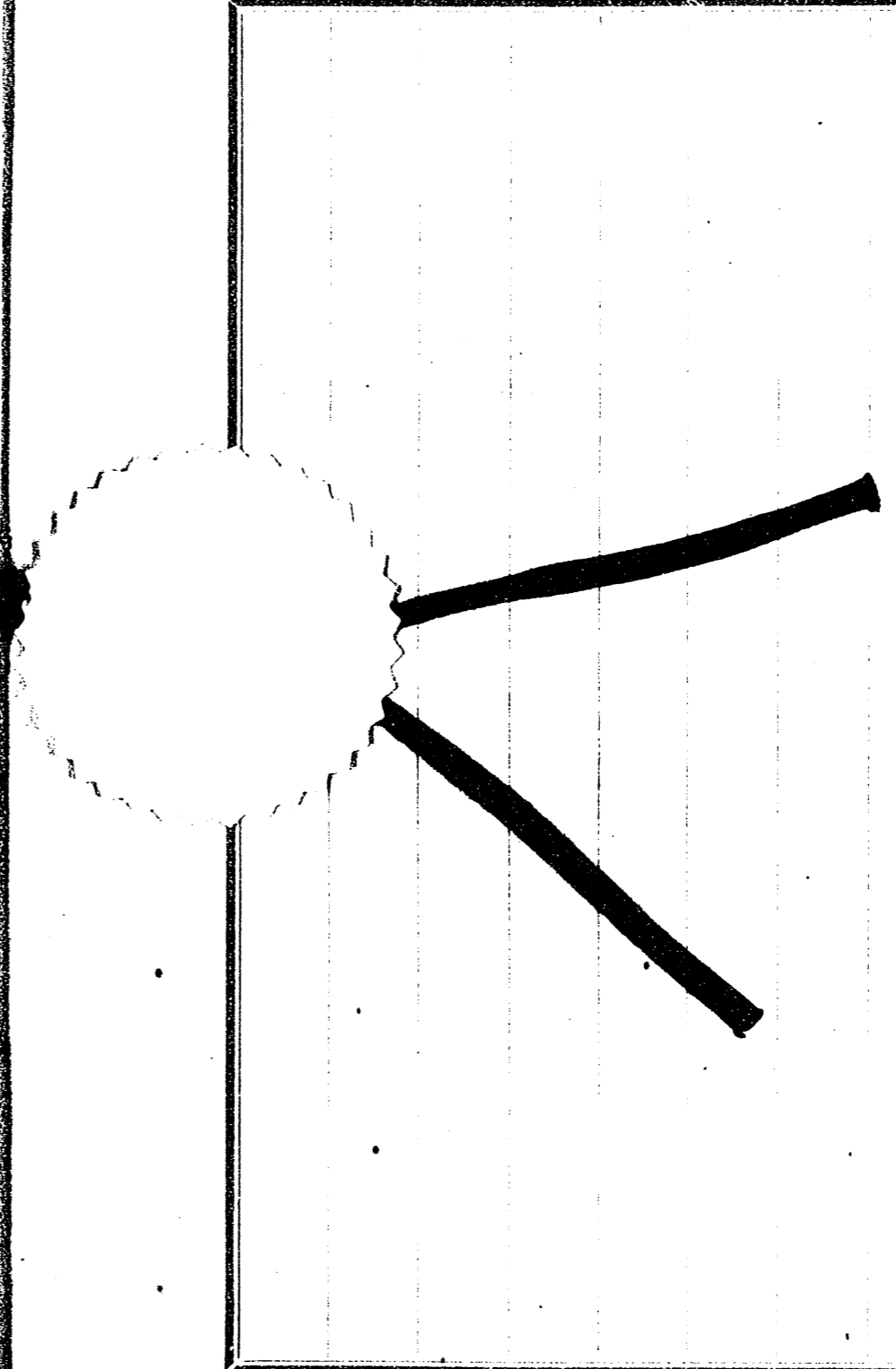
朕商工會議所法施行令ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

裕仁



昭和二年十二月二十七日

内閣總理大臣男爵 田中義一
 商工大臣 中務伸吾



勅令第三百七十九號

商工會議所法施行令

第一條 商工會議所ハ商工會議所法第十四條第一項ノ規定ニ依リ
 議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ對シ一年間ノ營業收益稅、取引所營
 業稅又ハ鑛產稅ノ地區内ニ於ケル納稅額ヲ標準トシ左ノ制限内
 ニ於テ定ムル賦課率ニ依リ其ノ經費ヲ賦課スルコトヲ得

一 營業收益稅 百分ノ二十五

二 取引所營業稅 百分ノ十

三 鑛產稅 百分ノ二十

前項ノ納稅額決定以前ニ於テハ其ノ最近ニ決定セラレタル一年
 間ノ納稅額ヲ以テ其ノ納稅額ト看做ス

第二條 會社ニ對スル經費ノ賦課ニ付テハ營業收益税法第十條第二項ノ規定ニ依ル資本利子税額ノ控除ヲ爲サザルモノヲ以テ營業收益税額ト看做ス

第三條 商工會議所ハ商工會議所法第十四條第三項ノ規定ニ依リ議員ノ選舉權ヲ有スル會社ニ對シ拂込資本又ハ財産ヲ目的トスル出資ノ金額ヲ標準トシ其ノ萬分ノ一以内ニ於テ定ムル賦課率ニ依リ其ノ經費ヲ賦課スルコトヲ得但シ商工會議所ノ地區外ニモ營業場ヲ有スル會社ニ付テハ別ニ命令ノ定ムル方法ニ依リ地區内ニ於ケル經費賦課ノ標準ト爲スベキ金額ヲ算出シ經費ヲ賦課ス

第四條 商工會議所法第十四條第一項ノ規定ニ依リ議員ノ選舉權

ヲ有スル會社ニシテ同條第三項ノ規定ニ基ク命令ノ定ムル金額以上ノ資本額又ハ財産ヲ目的トスル出資額ヲ有スルモノニ對シテハ第一條ノ規定ニ拘ラズ前條ノ例ニ依リ經費ヲ賦課スルコトヲ妨ゲズ

第五條 商工會議所ノ經費ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ商工會議所ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ商工會議所ハ遲滞ナク議員總會ノ議決ヲ經テ決定ヲ爲シ異議申立人ニ之ヲ通知スベシ異議ノ申立ニ關シテハ訴願法第五條、第八條第三項、第九條、第十條及第十二條乃至第十四條ノ規定ヲ準用ス

第六條 前條ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル地方長官ノ裁決ニ付テハ商工會議所ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七條 商工會議所法第三十八條第一項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ市町村ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八條 前二條ニ於テ地方長官トアルハ樺太ニ在リテハ樺太廳長官トス

第九條 第一條乃至前條ノ規定ハ商工會議所法第四十八條ノ規定ニ依リ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徴收スル場合ニ之ヲ準用ス但シ其ノ賦課率ハ第一條、第三條又ハ第四條ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第十條 日本商工會議所ハ商工會議所ニ對シ最近其ノ經費賦課ノ標準ト爲シタル一年間ノ納稅額ノ總額ヲ標準トシ其ノ百分ノ一以内ニ於テ定ムル率竝ニ最近其ノ經費賦課ノ標準ト爲シタル拂込資本及財産ヲ目的トスル出資ノ金額ノ總額ヲ標準トシ其ノ二十萬分ノ一以内ニ於テ定ムル率ニ依リ其ノ經費ヲ分賦スルコトヲ得但シ定款ノ定ムル所ニ依リ經費ノ二分ノ一ヲ限り商工會議所ノ前年度ノ豫算額ヲ標準トシ之ヲ分賦スルコトヲ妨ゲズ

商工會議所以外ノ所屬團體ニ對スル日本商工會議所ノ經費分賦ノ方法ハ定款ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 前條ノ規定ハ商工會議所法第五十九條ノ規定ニ依リ準用シタル同法第四十八條ノ規定ニ依リ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スル場合ニ之ヲ準用ス但シ其ノ分賦スル率ハ前條ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第十二條 日本商工會議所ノ經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日より三十日以内ニ日本商工會議所ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第五條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ異議ノ申立ニ之ヲ準用ス

第十三條 前條ノ異議ノ申立ニ關スル決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附 則

本令ハ商工會議所法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年勅令第七十號ハ之ヲ廢止ス

商工會議所法附則第三項ノ規定ニ依ル商工會議所ノ經費ハ次ノ總選舉ニ至ル迄ノ間商業會議所法ノ規定ニ依リ議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ對シ之ヲ賦課ス

前項ノ賦課ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

前二項ノ規定ハ商工會議所法附則第三項ノ規定ニ依ル商工會議所

内閣

ガ同法第四十八條ノ規定ニ依リ債枋ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ
賦課徴收スル場合ニ之ヲ準用ス